

新中期ビジョンの実現に向けて

管路診断コンサルタント協会事務局長 **長島 隆幸**



発足以来22年目を迎えた当協会は、昨年10月より山崎新会長のもと新しい布陣となり、節目となる年度を迎えております。普及率が高まり建設からストックマネジメントへの移行段階にある下水道は、不明水対策やPFI/PPPなどの効率的な運営方法が求められています。当協会では、管路施設の計画的な改築・修繕に関するコンサルティング業務の拡大に向け、技術講習会・研修会の開催、出版物の発行等を行ってきました。また、下水道管路アセットマネジメントの最適化を目指した「新中期ビジョン2020」を取りまとめています。

今年度は、新中期ビジョン2020の実現に向け、管路診断技術の進化、会員サービスの向上そして異業種・産学との連携の3つの柱を軸に、これまでの活動で積み上げてきた知見を地方公共団体はじめ関係者に提供していきます。引き続きご指導ご鞭撻のほど宜しくお願いします。